

Stand UP! NO.14

2016年11月16日

発行責任者 佐久間 晃史

編集責任者 情 宣 部

本社要請行動を行う！

本部青年部は11月16日、本社にて『年末手当満額回答を求める本社要請行動』を行い、年末手当満額獲得、新規採用の継続を訴えてきました。



冒頭、佐久間青年部長が要請文を読み上げ、青年部として①上半期の増収は青年部員の奮闘の成果であり、第4回交渉の「昨年冬（1.48カ月）も厳しい」との考えに職場の青年部員は憤っている。②私たちはいつまで頑張ればいいんだ。将来のビジョンも示せてないのに我慢してくれじゃ職場は持たない。③将来の会社を担う若手が、労働環境や会社の姿勢に失望してどんどん退職している。歯止めをかけるためにも今こそ満額回答で応えるべきだ。と職場の青年部員の思いをぶつけてきました。

「鉄道事業部門黒字」とは誰のためなのか!?

会社は過去「期末手当は業績給」と言っていましたが、上半期の経常利益は過去最高水準の黒字が出ているにも関わらず、今回は「鉄道事業が厳しい」と手当抑制姿勢に走っています。過去の発言にも責任を取らない経営陣に、新規顧客獲得等で収入拡大なんてできるのか!?こんなふざけた姿勢に荷主が納得するわけがない!今すぐ経営姿勢を改めて年末手当満額回答をもって誠意を示せ!回答指定日まであと2日です!ふざけた会社姿勢に抗議の声をあげていこう!!!!!!!!!!!!

**青年部員の頑張りを認めたのなら
頑張った者にしっかりと還元しろ!!**